

町内会事務所は
祝日を除く月曜日～金
曜日の 10 時から 16 時
まで開いています

町内会だより

9
月
号

玉川学園町内会
町田市玉川学園 2-19-5
Tel/Fax : 042-725-0438
E-mail:t-chounaikai194@bz03.plala.or.jp
http://www.194-0041.com

合同総合防災訓練に 357 名の方々が参加！！

-防犯防災部-

8月25日(土) 当町内と近隣自治会を交えて、玉川大学で合同総合防災訓練を実施しました。当日は、猛暑の中、役員を含めて 357 名の方々が参加されました。(男女別では女性が 60%、年代別では 65 歳以上の高齢者が 60%でした)

訓練内容は、①消火器による水の放射、②三角巾・包帯の実演体験、AED・人工呼吸の実演等救命・救護訓練、③お子様を中心とした梯子車の試乗と昨年町内会が購入した携帯無線機の実演体験、④約 250 人の方方でバケツリレー、そして地元消防団員のパフォーマンスとして、予めセットされた仮設小屋の被災者の救護や、機械を使用しての障害物除去作業、さらに消防車両による放水実演があり、無事終了いたしました。また、訓練参加の皆様には非常食用アルファーマの炊き出しを行い、パックに詰めてお持ち帰りいただきました。

当日の参加者は、残念ながら、昨年比で約 130 名の減少でしたが、これは、当日の猛暑を考慮して高齢者の参加自粛を呼びかけた地域もあったようで、やむを得ないものと思われます。当町内会では従来から防災訓練を 8 月後半の土・日に実施してまいりましたが、今後もこの日程を維持することは難しくなっているようで、実施時期の見直しが必要ではないかと思ひます。そこで、この防災訓練日程の変更と内容の充実とを合わせて、今後も検討を重ねることといたします。



写真左・消火器による放水訓練
写真上・梯子車の試乗

徳川ゆかりの地・蔵造りの街 「小江戸」川越で 秋のひとときを楽しみませんか

—成人部—

町内会 日帰りバス旅行のご案内です！

今回のバス旅行は、「徳川ゆかりの喜多院・五百羅漢」・「時の鐘」・「菓子屋横町」・「蔵の街」など、今は小江戸と呼ばれ、江戸の情緒をしのばせてくれる「川越」です。昼は、川越名物・さつまいもの「いも会席」を味わいます。秋のひととき、たっぴりと江戸情緒に浸ってみませんか？

- ☆ 開催日 : 平成 24 年 11 月 22 日 (木) 雨天催行 (荒天中止)
- ☆ 集合場所・時刻 : 都民銀行前 午前 7 時 45 分 (午前 8 時出発)
- ☆ 募集人員 : 98 名 (大型バス 2 台)
- ☆ 参加費 : ¥3,000 円 (昼食代、拝観料、ガイド料などを含む)
- ☆ 申し込み方法および申し込み期間 : 参加ご希望の方は、10月12日(金)までに、下記(欄外)の申込書にご記入の上、町内会事務所又は事務所ポストにお届け頂くか、042-725-0438 に FAX 願います。
- ☆ 注意事項 : 申し込みはひとり 2 名 (会員と家族) までとし、応募者多数の場合は抽選 (昨年落選された方を優先) とさせていただきます。抽選の結果は、10月26日(金)頃、ハガキでお知らせします。当選された方は、11月7日(水)から9日(金)の間に、ハガキと参加費をご持参の上、町内会事務所にて、正式に申し込み手続きを済ませてください。

第26回 秋の子どもまつり の おしらせです

-秋の子どもまつり実行委員会-

10月28日(日)、10:00から14:00まで 町田第五小学校で行われます。今年のテーマは「わ・わ・わ … 心と心をつなげよう …」です。今年も楽しい企画がたくさん用意されています。どうぞお出かけください。

町田市「資源とごみの収集カレンダー」の配布について

—環境部—

町田市が作成し配布する「資源とごみ収集カレンダー」は、玉川学園地区および東玉川学園地区については、当町内会が、(株)小平広告を通じて、地区内のすべての世帯に配布します(9月末頃)。来月からは、このカレンダーの曜日に基づいて資源ごみ(古紙、古着、ビン、カンなど)の回収が行われますので、集積所への資源ごみの排出曜日を間違えないようにご注意ください。もし、この「カレンダー」が届かない場合には、町内会の会員・非会員を問わず、町内会事務所(042-725-0438)にご連絡いただくか、あるいは町内会事務所で直接お受け取りください。

さくら---町内の桜の一部伐採と大櫨の対応について

(1) 桜は、玉川学園地域のシンボルツリー的存在ですが、80 年を超える桜の内部が腐食し、倒木の危険がある、ということで、町田市は駅周辺の 85 本の桜について 6 月下旬から樹木診断・測定を進めてきた結果、「内部の腐朽率(=腐食面積÷断面積)が東京都の基準 50%を超える桜は伐採せざるを得ない」ということで、残念ながら 9/3(月)、4(火)に桜 9 本が伐採されました。当該樹木には、その旨掲示がされた後、台風の季節の前にということで、実施されましたのでお知らせします。

(2) [腐朽率の例] 伐採 9 本中の巨木 4 本は---- (a) 花影坂南側の桜[54%]、(b) 花影坂北側の桜[53%]、(c) 町内会南西約 100m の桜[62%]、(d) 無窮会北約 10m の桜[59%] (85 本の全データは町内会事務所で閲覧出来ます)

(3) 桜の古木が伐採されることは、非常に残念なことです。今後、町内会としては地域の皆さまと共に、(a) 伐採を防ぐ育成策等を市と検討、(b) 伐採等の情報は前広に周知、(c) 当地域の中・長期の桜等のあり方を検討、ということを進めていきます。

(4) ケヤキ---駅前の大櫨についても、8 月末、市から腐食状況の樹木診断結果と、伐採の選択肢を含む提案が示されましたが、内容を精査しつつ、何とか残せる方法を含め、慎重に検討中です。

資源回収の報告

—環境部—

8 月の回収は 99.6 トンでした
資源ゴミは当日朝の 9 時までに出してください

広報部からのお知らせ

試行錯誤しながら、なんとか「町内会だより」を発行することができています。これも皆様のご支援の賜物と、厚く御礼申し上げます。おかげさまで、現在、手に余るほどの記事が寄せられています。そこで、スペースを増すために、表題部分のレイアウトを一部変更いたしました。ご意見ご感想をお寄せいただければ幸いです。(測)

9月定例幹事会(9/4)報告

—総務部—

- 下記の審議事項が承認されました
1. 市連役員研修会参加費用
 2. 第 37 回秋の駐輪・駐車秩序正常化キャンペーンについて
 3. 資源ゴミ収集「カレンダー」の配布

裏面にも各種の案内・お知らせがあります。

*一部ずつお取りください。

平成 24 年度 町内会日帰りバス旅行 (11/22) 参加申込書

10月12日(金)までにお申し込みください

支部名	会員氏名	住所	電話

玉川学園地区「市長と語る会」が開かれました



写真左・会場の風景、写真上・質問に答える石坂市長

8月9日、玉川学園地区の「市長と語る会」が、玉川学園地区町内会自治会連合会および諸活動団体の役員を中心とする約40名余のみなさんの参加を得て、さくらんぼホールで開かれました。会では、はじめに石坂丈一市長から「町田市がいま取り組んでいること、これから取りむこと」と題して、新市庁舎の建設と市役所の移転、保育園児の問題、小中学校校舎の耐震・暖冷房工事などについて説明があり、その後、希望者が挙手をして順次発言・質問を行い、玉川学園地区防災体制の整備、助け合い・ふれあいのまちづくりに対する市の支援、環境および景観保護の問題などについて、市長の見解を伺いました。市長はそれぞれの質問に丁寧に回答され、時間切れで質問打ち切りとなるまで、熱心な質疑・応答が続きました。

秋の健康ウォーキングに参加を申し込まれた皆さんへ

10月8日の秋の健康ウォーキング参加の方には、地図などを記載した「しおり」を郵送します。雨天中止の場合でも弁当をお渡ししますので、「しおり」をお持ちになって、当日午前9時30分までに、さくらんぼホール玄関前までお越しください。

家庭用消火器の取り扱い業者紹介について -防犯防災部-

今年も家庭用消火器の業者の紹介をいたします。この町内会だよりとは別に、各戸配布で回覧が廻りますので、その用紙を用いてお申し込みください。なお、締め切り日は10月15日(月)です。

☆連続講座「坂のまち／玉川学園地域で地震防災を考える」

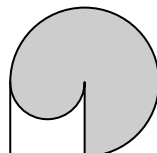
(続報) (玉川学園地区まちづくりの会が主催する講座です。参加ご希望の方は FAX729-3489または E-mail ktakamiz@nifty.com までお申込みください)

- 第2回：10月6日(土) 興人自治会集会所・地域の防災力と自治会活動
 - 第3回：10月27日(土) 第五小学校多目的室・地震から子どもたちを守るには
 - 第4回：11月17日(土) こすもす会館・地震からお年寄りを守るには
 - 第5回：12月1日(土) さくらんぼホール・各家庭や近隣・地域での取り組み(まとめ)
- 毎回、13:30~16:00の開催で、報告者はこの地域の住民たちです。

☆ 町田・エコフェスタ 2012

—環境部—

10月7日(日)、町田市・エコフェスタが、小山田のリサイクル文化センターで開催されます。当日はステージでの演奏・演技のほか、多くの団体によるエコに関する展示やグッズの即売、フリーマーケット等も行われます。当町内会は毎年これに協力し、環境部が「スタンプ・ラリー」の景品渡しを担当しています。町内会の多くの皆さんの参加をお待ちしています。(詳細は「広報まちだ」9月16日号をご覧ください)



近隣の「支え合い」で、命を、暮らしを守る！

<東玉川学園地域でこの取り組みがスタートするまで>

玉川学園町内会第六地区(東玉川学園地域)の高齢化率(居住人口の内65歳以上の占める割合)は、25.4%。これは町田市の平均21.8%を大きく上回っています。また、65歳以上の一人世帯は163世帯で、地域世帯数の約2割に相当します。(町田市人口動態調査：2012.1)

この第六地区で、いま近隣住民同士が支え合って安心安全な暮らしを営んでいく「高齢者ふれあい安心ネットワーク」の取り組みが始まり、災害時の安否確認、平時においてもさりげない見守りを通して「孤立死」などが起こらぬようにと、具体的な取り組みの実践がスタートしました。

きっかけとなったのは、「3・11東日本大震災」でした。町田では震度5強で、大きな被害はありませんでしたが、不安感を強めた地区内支部のある班では会合を開き、「今後起こりうる大きな地震の時には、向こう三軒両隣で互いに安否確認をする。わが家は無事～を知らせる白いタオル(夜間でも目立つので)を門口に出す。緊急時用の家族名簿を作成する」などの具体的な取り組みを決めました。

これとほぼ同じ頃、地区社協(玉川学園地区社会福祉協議会)では、「誰もが安心して幸せに暮らせるまち」を合言葉に、「ふれあい安心ネットワーク」構築に向けた取り組みを玉川学園地域内に広げていきたいと思います、と提唱。町内会第六地区にも、取り組み推進の要請がありました。

<手始めに現状把握から>

町内会組織である第六地区は、東急台支部・つつじヶ丘支部の二つの支部から成り、この春以降、地区会、支部会合などを通して、「安心安全な暮らしのために、今なにができるか」を話し合いました。その結果、まずは身の回りの現状を把握する。お一人暮らしの家、70代後半~80代お二人だけの家、在宅介護者のいらっしゃる家など、ご近所の状況を把握しようということになりました。(町内会非加入の方も含め)

その結果、アバウトではありましたが、戸建世帯の5軒に1軒強がお一人暮らし、又は高齢ご夫婦二人きりの世帯である状況が見えて来ました。このような現状を踏まえて、それでは具体的に何をどのようにしていくのか - 取り組みは次のステップに進みます。

平成24年8月(第六地区長 斎藤 記)